

公益社団法人日本地震工学会 第 21 回理事会議事録

A. 日時：2016 年 4 月 19 日（火） 16 時 00 分から 19 時 10 分

B. 場所：建築会館 308 会議室

C. 出席者：（会長）目黒公郎，（副会長）志波由紀夫、中埜良昭，倉本 洋

（担当理事）副島紀代，吉見雅行，佐藤正行，藤川 智，高橋郁夫，中村いずみ，原田健二，楠 浩一，澤田純男，甲斐芳郎，中村友紀子，（監事）中村 晋

欠席：（担当理事）大堀道広，片岡正次郎，室野剛隆，藤原広行，小檜山雅之，（監事）勝俣英雄

オブザーバ出席：吹野美絵事務局長，小松康典事務局員

D. 提出資料

資料 21-00 第 21 回理事会議事次第（副島理事）

資料 21-01 公益社団法人日本地震工学会第 20 回理事会議事録（案）（吉見理事）

資料 21-02 会務報告（2016 年 3 月 15 日～2016 年 4 月 19 日）（副島理事）

資料 21-03 会計報告（佐藤理事・原田理事）

資料 21-04 欠番

資料 21-05 欠番

資料 21-06 会誌編集委員会からの報告（高橋理事）

資料 21-07 情報コミュニケーション委員会活動報告（小檜山理事・中村いずみ理事）

資料 21-08 日本地震工学会・大会 2016 一般発表の募集案内（甲斐理事）

資料 21-09 17WCEE 招致委員会からの報告（中埜副会長）

資料 21-10 代表理事および業務執行理事の業務報告について（副島理事）

資料 21-11 平成 28 年 4 月理事会 個人会員 入退会一覧（藤川理事）

資料 21-12 後援（2 件）名義使用依頼審議資料（吉見理事）

資料 21-13 平成 27 年度事業報告（案）（副島理事）

資料 21-14 平成 27 年度決算報告書（佐藤理事）

資料 21-15 次期理事会理事候補者の選出（吉見理事）

資料 21-16 次期選挙管理委員会委員候補者の選出（藤川理事）

資料 21-17 次期役員候補推薦委員会委員候補者の選出（副島理事）

資料 21-18 規則・規程類の改定について（副島理事）

資料 21-19 公益社団法人日本地震工学会第 4 回社員総会議事次第（案）（副島理事）

資料 21-20 南海地震 70 周年シンポジウム（地震学会との共催）について（目黒会長・吉

見理事)

資料 21-21 防災学術連携体の動きについて (楠理事)

資料 21-22 津波避難研究委員会報告会について (倉本副会長)

資料 21-23 会長特別委員会 (地域レジリエンス) による震災対策技術展 (大阪) でのブース出展とセミナー開催について (副島理事)

資料 21-24 会員アンケート結果について (副島理事)

資料 21-25 部会・委員会等の引継ぎについて (吉見理事)

資料 21-26 次期への申し送り事項 (副島理事)

理事 20 名中 14 名の出席があり、理事会が成立が確認された。

E. 議題 :

E 1. 報告事項

1) 第 20 回理事会議事録の確認 (吉見理事 資料 21-01)

資料 21-01 を基に吉見理事より前回議事録が説明され、本議事録は内閣府への提出資料に含めるためすでに承認済みであることが報告された。

2) 会務報告 (副島理事 資料 21-02)

副島理事より資料 21-02 を基に会務報告が行われた。

3) 会計報告 (佐藤理事 資料 21-03)

佐藤理事より資料 21-03 を基に平成 27 年度の収支決算 (案) について報告があった。前回理事会での報告内容と大きな違いはないと説明された。監事監査会にて決算書に含めるべきとの指摘のあった公益目的事業・法人会計別の収支試算も示され、説明された。

次年度以降は事業と予算の項目立てが対応するように見直した方が良いとの意見があった。

4) 事業企画委員会からの報告 (中村友紀子理事)

中村友紀子理事より事業企画委員会の報告があった。メディア懇談会を 7 月頃に実施予定であること、E-ディフェンス見学会を 2 月実施予定であることが報告された。また、震災対策技術展の講演枠が 1 つしか取れない場合には、その枠に震災予防講演会を充てる予定であることが報告された。

5) 国際委員会からの報告 (楠理事)

楠理事より国際委員会関連の報告があった。2016年4月に発生したエクアドルの地震について情報収集を進める予定であることが報告された。また、IAEE事務局からの情報として、17WCEEへの立候補が締め切られたが、立候補は8カ国であったことが報告された。立候補国は16WCEE総会(於チリ、2017年1月)でプレゼンテーションを行うことになるが、11月を目処に発表ファイルの準備を依頼しているとのことである。プレゼンテーション等について問い合わせがあればIAEEから回答することとしているが、まだ問い合わせした国はないとのことである。

6) 会誌編集委員会からの報告 (高橋理事 資料 21-06)

高橋理事より資料 21-06 を基に会誌編集委員会の報告があった。会誌(6月末発刊、10月末発刊)についてスケジュール通り作業を進めている。

7) IC委員会からの報告 (中村いずみ理事 資料 21-07)

中村いずみ理事より資料 21-07 を基にIC委員会の報告があった。サイトの定期的メンテの他、年次大会のサイト準備を進めたこと、JAEE Newsletterは4月末に発行予定であることが報告された。

8) 大会実行委員会からの報告 (甲斐理事 資料 21-08)

甲斐理事より資料 21-08 を基に日本地震工学会大会について報告があった。主な報告は以下のとおり。

- ・これまでの大会にはない取り組みとして参加費無料の意見交換会がある。
- ・会費制の交流会について、事前に参加人数を把握する必要があることから参加費割引のある事前申し込みを設定した。
- ・大会前日に見学会を開催する。
- ・一般発表の申し込み締めきりは6月末に設定する。

報告を受けて質疑が行われた。

地震工学技術フェアの出展メリットについて質疑があり、高知県の防災技術を持つ会社にもアプローチしていくことが重要であるとの意見が出された。

募集案内をもう少しわかりやすくした方がよいという指摘があり、整理して対応することになった。

会費を支払う交流会の開始時刻が午後7時半となると、参加を見合わせる人が多くなるのではないかと指摘があった。意見交換会をポスター会場で行うなどして終了を早めるな

どの提案があり、引き続き検討していくこととなった。

このほか、見学会のアイデアについて意見交換が行われた。

9) 17WCEE 招致委員会からの報告（中埜副会長 資料 21-09）

中埜副会長より資料 21-09 を基に 17WCEE 招致委員会の動きについて報告があった。主な報告は以下のとおり

- ・ 仙台会場案で下準備をしているところ。
- ・ サポート国の確保に向けて活動予定。
- ・ 会期候補は 2020/9/7～9/11 か 9/14～9/18。
- ・ 大会コンセプトを練っているところ。
- ・ 次回委員会（5/31 開催予定）で Flyer 案を提案予定。
- ・ National Delegate リストの更新と支援要請が今後の重要事項。

報告を受けて、17WCEE への立候補について確認があり、17WCEE 開催地として日本地震工学会が立候補することについて理事会で承認された。このうえで、次の意見があった。

海外の方の原発事故の捉え方は日本人とは異なる。仙台実施であれば原発を避けては通れないため、安全性のアピールも必要との意見があった。

参加者数の見込みについて、過去の WCEE の参加者数を参考に、日本開催であることも考慮した試算が必要であるとの指摘があった。

10) 代表理事および業務執行理事の業務報告について（副島理事 資料 21-10）

副島理事より資料 21-10 を基に平成 27 年度の代表理事および業務執行理事の業務報告状況について報告があった。平成 27 年度については、定款第 22 条第 4 項（毎事業年度に 4 箇月を超える間隔で年に 2 回以上、自己の職務の執行の状況を、理事会に報告しなければならない）を満たしているとの報告があった。次年度以降は理事全員が業務執行理事となるため、定款を満たすよう留意していく必要がある。

11) 熊本・大分地震への対応について（志波副会長）

志波副会長より平成 28 年熊本地震および大分の地震について、日本地震工学会の 4 月 18 日までの対応状況が次のように説明された。

- ・ 4 月 14 日 21 時 26 分の平成 28 年度熊本地震の発生を受け、22 時 14 分に目黒会長を本部長とする地震災害対応本部を設置した。
- ・ 4 月 18 日に防災学術連携体の共同記者会見を実施した。
- ・ 今後、調査報告書を学会合同で作成することになると想定される。継続的な活動が必要

となる。

E 2. 議案

第 1 号 入退会者（藤川理事 資料 21-12）

藤川理事より資料 21-12 を基に平成 28 年 4 月の入退会者について説明があり，正会員 6 名，学生会員 1 名の入会が承認された。また，年度末での退会者が正会員 19 名，学生会員 12 名であったことが報告された。

第 2 号 共催・後援・協賛等（吉見理事 資料 21-12）

吉見理事より資料 21-12 を基に後援依頼（2 件）について説明があり，異議無く承認された。

第 3 号 平成 27 年度事業報告（案）（副島理事 資料 21-13）

副島理事より資料 21-13 を基に平成 27 年度の実業報告（案）の説明があり，異議無く承認された。

なお，今後はフォーマットを見直し，委員会，部会毎の活動が見分けられるような事業報告にしていくことが確認された。

第 4 号 平成 27 年度決算（案）（佐藤理事 資料 21-14）

佐藤理事より資料 21-14 を基に平成 27 年度決算（案）の説明があり，異議無く承認された。今年度の社員総会の資料に会計別（公益目的事業会計，法人会計）の正味財産増減計算書内訳表をつけることが報告された。また，書式の統一について提案があった。

第 5 号 次期理事会理事候補者の選出（吉見理事 資料 21-15）

吉見理事より資料 21-15 を基に次期理事会理事候補者の説明があり，異議無く承認された。

第 6 号 次期選挙管理委員会委員候補者の選出（藤川理事 資料 21-16）

藤川理事より資料 21-16 を基に選挙管理委員会の委員候補者について提案があり，異議無く承認された。

第 7 号 平成 28 年度役員候補推薦委員会委員の選任について（副島理事 資料 21-17）

副島理事より資料 21-17 を基に平成 28 年度役員候補推薦委員会の委員について提案があり，

異議無く承認された。今回は再任委員の任期は1年とすることとした。

第8号 規則・規程類の改定について（副島理事 資料 21-18）

副島理事より資料 21-18 を基に規則・規程類の改定について説明があり、すべて承認された。

これまでの理事会で説明済みのもので、国際研究発表会実施委員会の廃止、優秀論文発表賞→優秀発表賞への名称変更、年次大会→大会への表記統一、広報部会の新設、「個人」の定義の明確化によるもののほか、用語の統一、誤字脱字等の軽微な修正を行ったものである。また、旅費等支払い細則を改定していくことについて確認された。

第9号 公益社団法人日本地震工学会第4回社員総会議事次第（副島理事 資料 21-19）

副島理事より資料 21-19 を基に公益社団法人日本地震工学会第4回社員総会議事次第について説明があり、承認された。

E 3. 懇談事項

1) 地震学会、地震工学会の共催シンポジウムについて（目黒会長、吉見理事 資料 21-20）
目黒会長、吉見理事より資料 21-20 を基に地震学会との共催シンポジウムの準備状況について説明があった。シンポジウムは、講師3名の発表とその後のパネルディスカッションで構成し、一般市民向けの企画として実施予定である。講師は依頼、内諾済みであることが説明された。

2) 防災学術連携体の動きについて（楠理事 資料 21-21）

資料 21-21 に基づき楠理事より防災学術連携体の動きについて説明があった。4月15日に防災学術連携体からメールがあり、防災学術連携体が主催するワークショップへの意見を求められている。本件については目黒会長が素案を検討することとなった。

3) 津波避難研究委員会の報告会および若手会員による研究委員会募集案について（倉本副会長 資料 21-22）

倉本副会長より資料 21-22 を基に津波避難研究委員会の報告会および若手会員による研究委員会募集案の説明があった。提案通り進めていくこととなった。

4) 会長特別委員会のブース出展とセミナー開催について（副島理事 資料 21-23）

副島理事より資料 21-23 に基づき会長特別委員会の震災対策技術展（大阪）へのブース出展とセミナーについて説明があった。

5) 会員アンケート結果について（副島理事 資料 21-24）

副島理事より資料 21-24 に基づき会員アンケート結果の報告があった。今後の分析が必要だが、様々な意見が出ていることが紹介された。

6) 部会・委員会等の引継ぎについて（吉見理事 資料 21-25）

吉見理事より資料 21-25 を基に、部会・委員会等の引継ぎについて説明があった。6月6日の次回理事会までに引継ぎを完了する必要があることが確認された。

7) 次期への申し送り事項について（副島理事 資料 21-26）

副島理事より資料 21-26 を基に次期への申し送り事項について説明があった。

第4回社員総会 5月17日（火） 建築会館

次回理事会 6月6日（月）17:15~20:00

記録担当：総務理事 吉見雅行

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成28年6月6日

議 長 目 黒 公 郎

監 事 中 村 晋